

公益財団法人日本バスケットボール協会

平成26年度 定時評議員会 議事録

日 時：平成26年6月21日(土) 13:00～16:20

場 所：スタンダード会議室 五反田店

出 席：＜評議員＞

森野和泰、田中雅之、藤原修、保坂明、沼澤宏、安齋司、岡田裕昭、遠藤嘉津敏、池田照、田中敏郎、大野健男、齋藤徳也、半田真一郎、天野寛、真田功、山田洋司、松倉弘英、青木隆、林厚子、島澤司、渡邊正知、門川浩人、後藤明、湯浅暢宏、新宅博生、宮倉義輝、岡嶋隆文、中澤亨、宇田川貴生、藤村昇、穂山靖夫、玉井尚樹、木下博順、小坂悦夫、祖岩亨道、大塚英彰、野田明宏、加藤裕三、上元康正、鮫島俊秀、日越延利、安田勝彦、榊原みどり、市川数馬、小口賢司、北澤和基、荒井邦夫、有本功、増島篤、宮地弘孝、森崎秀昭、和田雅也、白谷慶子の各評議員

＜理事＞

深津泰彦会長職務代行、丸尾充、梅野哲雄の各副会長、星芳樹専務理事、伊藤信明、熊谷秀樹、坂本昌彦、佐々木三男、品田奥義、庄司義明、高橋雅弘、田窪徹、野村俊郎、原田茂、福井晴次、堀井幹也、吉田長寿、吉田利治の各理事

＜監事＞

高原洋太郎、松岡憲四郎、山崎均の各監事

＜特任委員＞

片山正明、西井歳晴、林直樹の各特任委員

欠 席：小野安壮、横山俊幸、川武修、近藤豊志、中村哲夫、井手口孝の各評議員、麻生太郎会長、大神訓章、大山妙子、鈴木秀太、水谷豊の各理事、内山英司、小倉恭志、上島正光の各特任委員

オブザーバー：金井克仁弁護士、山見博康裁定委員会委員長

議 題

- (1) 平成25(2013)年度決算報告について
- (2) 役員選任について
- (3) 退任役員の処遇について
- (4) 役員報酬について

開会に先立ち、東日本大震災復興支援の義援金として岩手県協会藤原理事長、福島県協会安齋理事長に目録が贈呈された。(宮城県協会小野理事長は欠席)

また、本年度国体開催地となる長崎県の大塚理事長ほか地元担当者より国体開催についての挨拶があった。

1. 定足数の報告

堀井総務部長より定刻における出席者数の報告があり、定款第16条第2項に基づき、評議員総数(59名)の

過半数の出席(出席:53名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

また、オブザーバー参加者の他、トップリーグに関連する報告もあることから、bjリーグの担当者の傍聴があることが報告された。

2. 挨拶

深津会長職務代行より開会の挨拶があった。

3. 議長選出

堀井総務部長より、議長選出にあたってはこれまでの評議員代表者による協議を受け、議長に中日本・奈良県の岡嶋隆文評議員、副議長に東日本・青森県の田中雅之評議員および西日本・岡山県の穂山靖夫評議員が推薦され、承認された。

4. 議事録署名人選出

議事録署名人については、定款第19条により議長および出席評議員の代表2名以上が必要になることから、議長より議事録署名人として山形県の沼澤宏評議員、千葉県の大野健男評議員が推薦され、承認された。

5. 議事

議事に入る前に重要事項として、FIBAおよびPリーグに関する件について深津会長職務代行より次の報告があった。

「bjリーグとの協議の中で、2016年シーズンより、bjリーグおよびNBL/NBDLを統一したプロリーグを創設するための話し合いをスタートさせることに合意した。今後は参加各チームの意見を踏まえて具体的な骨子を作り、10月末までに関係者間の合意を得る。話し合いをスタートさせる前提、話し合いの進め方については資料のとおり。

あわせて、FIBAのバウマン事務総長からは、本日の会議に出席できなくなったことのお詫びとともに、組織、ガバナンス、強化に関する強い指摘、また、10月末までにそれらおよび新プロリーグに関する最終の解決策の提示を求めるコメントが届いた。」

これについては、FIBAの制裁(資格停止)を危惧する意見などがあり、制裁を回避する明確な条件が提示されているわけではないものの、10月末までにトップリーグに関しては関係者の合意を得た成案を作成すること、強化に関してはアンダーカテゴリーからの一貫した強化プランおよび国際カレンダーへ対応、組織のガバナンスについては迅速な意思決定や事業力、広報力の強化などについて具体的な内容を示すことが必要だと考えていることが説明された。

(1) 平成25(2013)年度決算報告について (星専務理事、堀井理事)

議案に先立ち、平成25年度の事業報告について資料に基づき報告があった。

平成25年度決算については、前年度のマイナス分を補填するための取り組みを行い、ウインターカップや

オールジャパンの収支のプラスなどで、全体収支で56,000千円のプラスとなったことが報告された。尚、税引き前の収支では82,000千円のプラスとなっていたが、法人税、消費税等の支払いが当初見込みより大幅に増えたことがあり、これについては今後監査法人や税理士にも相談して対処していくことが報告された。また、監査法人および監事からも内容が適正であったとの監査報告を受けていることが補足され、審議の結果、賛成多数により原案通り承認された。

<承認>

(2) 役員選任について（役員候補者選定委員会 深津委員長）

平成26・27年度の役員選任にあたり、役員候補者選定委員会より下記の理事候補者26名、監事候補者2名が推薦された。議決方法については、定款第18条に基づいて候補者ごとの決議が必要なことから、候補者ごとの書面投票を行うこと、またそれに当たっては、候補者に現評議員が候補者に含まれているため、本人による投票は行わず、母数から除くことが確認された。書面投票の結果、候補者全員が出席評議員の過半数を上回る賛成を得、原案通り承認された。

（尚、3月15日の臨時評議員会にて、深津泰彦氏の理事・会長候補者として既に選任済み。）

<理事(50音順)>

	氏名	年齢(6/21 現在)	留・再・新	備考
1	青木 隆	53	新任	◆北信越ブロック推薦
2	梅野 哲雄	67	留任	
3	河内 敏光	60	新任	
4	岸本 和巳	66	再任	◆中国ブロック推薦
5	熊谷 秀樹	63	留任	◆東北ブロック推薦
6	倉石 平	58	再任	
7	小坂 悦夫	64	新任	◆四国ブロック推薦
8	佐々木 三男	65	留任	
9	鮫島 俊秀	59	新任	◆九州ブロック推薦
10	品田 奥義	57	留任	◇連盟
11	庄司 義明	60	留任	
12	高橋 雅弘	54	留任	
13	塚田 博己	52	新任	
14	西井 歳晴	61	新任	◇連盟
15	西川 和人	66	新任	
16	野村 俊郎	64	留任	◆関東ブロック推薦
17	橋本 信雄	59	再任	
18	林 直樹	65	再任	◇連盟
19	原田 茂	69	留任	◆近畿ブロック推薦
20	福井 晴次	62	留任	◆東海ブロック推薦
21	星 芳樹	65	留任	
22	堀井 幹也	53	留任	
23	丸尾 充	65	留任	

24	森野 和泰	63	新任	◆北海道ブロック推薦
25	吉田 長寿	44	留任	
26	吉田 利治	55	留任	

<監事2名(50音順)>

	氏名	年齢(6/21 現在)	留・再・新	備考
1	榊原 みどり	64	新任	
2	高原 洋太郎	58	留任	

<承認>

(3) **退任役員の処遇について**（堀井理事）

役員改選に伴う退任役員の処遇(名誉会長、名誉顧問、顧問および参与への推薦)を速やかに決定するため、理事会一任とすることが提案され、賛成多数により承認された。

<承認>

(4) **役員報酬について**（堀井理事）

平成26年度以降の役員報酬総額について1,500万円を上限とすることが提案され、賛成多数により承認された。

<承認>

6. 報告事項

(1) **平成25年度事業報告について**（星専務理事）

（第1号議案説明に関連して報告）

(2) **FIBA/Pリーグ関連について**（深津会長職務代行）

（議事に入る前に報告）

(3) **その他**（堀井理事）

2014年3月～5月の各委員会等の活動状況が報告された。また、シャンソン化粧品の新若年者移籍に関するFIBA規程違反について、裁定委員会からの答申内容が資料に基づき報告された。

以上